

交通政策調査特別委員会 案件一覧

(令和8年9月25日開催分)

○所管事務報告 2件

部局	報告順	件名	資料番号	説明者（所管課長名等）
資源環境部	1	東急多摩川線・新空港線計画の環境影響評価調査計画書に対する区長意見について	2	小泉 みどり・環境保全担当課長 大見 新空港線・沿線整備担当課長
まちづくり推進部	2	大田区コミュニティバス矢口地域運行事業のたまちゃんバス応援寄付金制度の創設について	4	戸塚 公共交通・臨海部担当課長

東急多摩川線・新空港線計画の環境影響評価調査計画書に対する区長意見について

交通政策調査特別委員会
令和8年9月25日
資源環境部 資料2番
所管 環境政策課

1 対象事業の概要

事業名	都市高速鉄道東急電鉄東急多摩川線地下化事業及び都市高速鉄道新空港線建設事業
事業者	羽田エアポートライン株式会社及び東急電鉄株式会社
事業概要	全長 : 約1.7km
	地下化区間 : 約0.9km (矢口渡駅先～蒲田駅)
	新設区間 : 約0.8km (蒲田駅～京急蒲田駅)
事業区間	起点：大田区新蒲田二丁目 終点：大田区蒲田四丁目
工事予定期間	約10年

2 環境影響評価手続

縦覧対応	期間 : 令和8年8月7日～8月17日 縦覧場所 : 環境政策課、鉄道・都市づくり課 閲覧場所 : 矢口特別出張所ほか2所、 下丸子図書館ほか3館
区長意見	令和8年8月24日提出 意見の概要は右記のとおり
今後の手続	➤ 審査意見書(都民・区長意見を受け都が作成)が都HPで公開 ➤ 事業者が調査計画書に基づき、調査・予測・評価を実施し、環境影響評価書案を作成

3 区長意見（概要）

総論	・当該沿線には保育・教育施設や多くの住宅が面している。環境基準の遵守と共に、基準の設定が未整備の公害にも最大限配慮し、生活環境の保全に努めていただきたい。
大気汚染	・工事の施工中の建設機械の稼働や工事用車両の走行に伴う影響への配慮
騒音・振動	・工事用車両、換気設備周辺、終電前後の列車の出入りなど、騒音・振動への十分な配慮 ・掘割区間における騒音の悪化防止対策 ・工事及び列車の走行による町工場などの事業活動への配慮
水質汚濁	・排水処理にともなう水質汚濁負荷の低減への配慮 ・集中豪雨等による工事区域の排水や污水逆流防止への配慮
土壌汚染	・工事による汚染土壌拡散防止への配慮
地盤	・工事の影響によるり地盤沈下が生じないような水位管理等の十分な実施
水循環	・地下水流況や水位低下について広域的な影響の配慮 ・事業区間周辺の地下水利用施設への影響への配慮
自然との触れ合いの場	・事業区間周辺に点在する西蒲田公園などの公園に影響を及ぼすことのないような配慮
温室効果ガス	・温室効果ガス排出抑制への最大限の配慮

大田区コミュニティバス矢口地域運行事業の
たまちゃんバス応援寄付金制度の創設について

1 概 要

たまちゃんバスは地域で支え「守り」「育てる」コミュニティ交通として、平成21年に運行を開始した。4年連続で収支率 50%を下回らないことが運行継続の条件としているが、人件費の高騰などを背景に運行経費は今後も増加傾向にある。

たまちゃんバスの安定的な運行を維持するため、利用者や地域から運行継続に向けた支援を受ける制度として、たまちゃんバス応援寄付金制度を創設する。

2 収支率について

運行継続の判断基準とする収支率の算定方法

収支率(%)=(運賃収入+広告収入+補助金+**寄付金**) / 運行経費

3 開始時期

令和 8 年 10 月 1 日予定

4 寄付金制度

■ ふるさと納税

申 込 者	個人
納 付 額	2,000 円(一口)～
申 込 方 法	各種ふるさと納税ポータルサイトから申込

■ 協賛金

気軽に応援協賛金

申 込 者	一般向け(個人・個人事業主等)
協 賛 金	2,000 円以上
申 込 方 法	大田区ホームページから申込、申込書の郵送または窓口持参による申込
協 賛 返 礼	5,000 円以上ご協賛いただいた方はお名前を大田区ホームページに掲載(希望される方のみ)
掲 載 期 間	掲載日から起算して1年間

しっかり応援協賛金

申 込 者	企業・団体等向け
協 賛 金	50,000 円以上
申 込 方 法	大田区ホームページから申込、申込書の郵送または窓口持参による申込
協 賛 返 礼	ご協賛いただいた企業名・団体名を以下に掲載・掲示(希望される方のみ) ① 大田区ホームページ ② たまちゃんバス車内 ③ 区の公共施設
掲 載 期 間	掲載日から起算して1年間

■ 主な周知方法

・区ホームページ、X、地域情報誌、回覧、掲示板等